

# 2020.02.25 13:30～ 健康づくり 推進セミナー

開催

新潟東映ホテルを会場に、参加者91名



## 日本のがん研究とがん対策の 第一人者 中川Dr.の講演

当会では、毎年、業務部が主体となって、人間ドックや健康診断をご利用いただいている事業所様や健康保険組合様をお招きして『健康づくり推進セミナー』を開催しています。

このセミナーは、毎年、県内外から著名な講師をお招きして最新の健康づくり関連情報をお伝えするとともに、当会職員の活動・研究の成果など、当会の取り組みをご報告させていただいております。また、当会にとりましては、ご参加いただく多くの皆様方より、直接、ご意見やご指導をいただくことができる貴重な機会となっております。

今年は、コロナウイルスの感染拡大が懸念される中での開催となりましたが、91名の皆様よりご参加いただくことができました。ご参加いただきました皆様よりご協力をいただきながら、また、会場の新潟東映ホテルとは、事前の打合せから準備・実施に至るまで、多大なるご支援とご尽力をいただき、考える万全の感染予防対策を講じて当日を迎えることができました。この場をおかりして心より感謝申し上げます。

プログラム			
開会挨拶	13:30 ～13:35	一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸示	
演題I	13:35 ～14:00	当会の人間ドック・がん検診の結果から	一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 企画部企画課 課長 鈴木 貴幸
演題II	14:00 ～14:20	当会の改善発表大会報告から ～胃がん検診における放射線技師の取り組み～	一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 診療放射線技師 清水 良祐
講演I	14:20 ～15:10	糖尿病の発症・重症化を予防する 「血糖トレンド」を活かした生活習慣対策	血糖トレンド委員会世話人/とくだ内科クリニック 管理栄養士 國枝 加誉
講演II	15:30 ～17:00	知っておきたい「がん講座」	東京大学医学部附属病院 放射線治療部門長 中川 恵一



※コロナウイルス感染防止のため、アルコール消毒とマスクの着用、会場内の換気の徹底などが東映ホテルの全面的な協力で行われたセミナーです。

### 演題I

## 当会の人間ドック・ がん検診の結果から

演題Iでは、当会企画部企画課の鈴木貴幸課長より、当会の人間ドックとがん検診に関する報告がありました。

この中で、当会のドックご受診者の79.1%がリピーターの皆様であること。平成30年度の人間ドックの結果では、当会のがん発見率は0.39%と、全国集計の0.28%（日本人間ドック学会調査）よりも1.4倍高いこと。また、がん検診のプロセス指標として管理している要精検者数、精検受診率、陽性反応の中度（要精検者のうち、がんが発見された割合。基本的には高い方が望ましい）が紹介されました。

当会の人間ドックやがん検診では、お客様に提供するサービスを「品質」という概念で管理し、常に、品質を第一に、品質にこだわった取り組みをしています。

この品質管理の手法としては、事業全体をISO9001、臨床検査をISO15189（いずれも県内健診機関では当会の



み)に基づいた品質マネジメントシステムを採用し、途切れることのない改善活動に取り組んでいます。また、人材の育成にも力を入れており、診療放射線技師・臨床検査技師等に対し、専門学会の認定取得を積極的に推進し、高いレベルの技術を持つ「専門家の中の専門家」の育成をおこない、その資格者に検査を担わせています。

鈴木課長からは、そうした当会の取り組みの状況と、その結果をご紹介させていただきました。この報告を聞いて、当会の取り組みを継続してお客様にお届けすることの大切さと、当会の人間ドック・がん検診をより多くの方々にご受診いただき、疾病予防や、早期発見・早期治療にお役立ていただきたいという思いが一層強くなりました。

## 演題II

### 当会の改善発表大会報告から ～胃がん検診における放射線技師の取り組み～

演題IIでは、ウェルネス検診センターの清水良祐診療放射線技師より、胃がん検診における診療放射線技師の取り組みについてと題しての報告がありました。

当会では、品質マネジメントシステムが、効果的であり続けるように、継続的な改善を行いその向上に取り組んでいます。この取り組みの一環として「研究改善発表大会」という名称で、職員が一同に会し、定期的に取り組みの成果を報告し合い、共有する場を設けています。

清水診療放射線技師の発表は、この研究改善発表大会の中から、特に皆様にご紹介させていただきたい演題としてピックアップしたものです。

胃がん発見率を上げるために「見つける技術」「気づく技術」を磨き、診療放射線技師一人ひとりが胃がん検診のスペシャリストを目指していること。そのために、第三者団体による精度管理調査などに積極的に参加し、客観的・定量的な評価を確認していること。診療放射線技師全体で症例検討会を開催しながら、最新のエビデンスに基づく撮影技術の習得・共有を進めていることが紹介されました。

日頃、お客様の目には、直接触れることの無い地道な取り組みですが、検査精度を第一にしている当会にとっては、なくてはならない取り組みの一つです。ご紹介することができて、少し誇らしい気持ちになりました。



## 講演I

### 糖尿病の発症・重症化を予防する 「血糖トレンド」を活かした生活習慣対策

講演Iでは、血糖トレンド委員会世話人/とくだ内科クリニックの管理栄養士でいらっしゃる國枝加誉さんより、『糖尿病の発症・重症化を予防する「血糖トレンド」を活かした生活習慣対策』と題して、ご講演をいただきました。



國枝さんが世話人として所属されている血糖トレンド委員会は、2019年11月に設立された委員会です。この委員会は、血糖コントロールの重要性および「血糖トレンド」の概念とその活用方法について、医学的、学術的、そして患者さんの視点で分かりやすく正確な情報発信を行うこと目的に設立された委員会です。

國枝さんは、ご自身が若年性の2型糖尿病となられたことをきっかけに管理栄養士になられたそうです。

現在はフリーランスで臨床と予防療法の分野で管理栄養士として活動され、多くの方々へ栄養指導を実施していらっしゃるとのことでした。

ご講演では、豊富なお経験から、血糖変動のメカニズムから、血糖変動を穏やかにする食事のポイントに加えて、生活習慣改善を働きかける時に効果的な言葉かけの例など、具体的にわかりやすく教えていただくことができました。

「血糖スパイク」「食後高血糖」「隠れ糖尿病」など、血糖検査だけでは分りにくい糖尿病のリスクが注目されています。教えていただいた内容を、これからの活動に活かしていきたいと感じました。

## 講演II

### 知っておきたい「がん講座」

講演IIでは、東京大学医学部附属病院の放射線治療部門長でいらっしゃる中川恵一先生より、『知っておきたい「がん講座」』と題して、ご講演をいただきました。

中川先生は、がん対策推進協議会委員、厚生労働省/がん対策推進企業アクション議長、文部科学省/がん教育検討委員会委員をお務めになるなど、日本の「がん研究」「がん対策」の第一人者の先生です。

中川先生ご自身も、膀胱がんを発症され、その発見から治療までの過程を、実際の画像とユーモアを交えながらご披露いただきました。また、男性の3人に2人、女性の2人に1人は生涯の中でがんを発症すること。がんは、特別な病気、不治の病ではないこと。早期に発見し、適切に対処すれば、決して怖い病気ではないことを、多くのスライドを交えながら、優しく分かりやすく教えていただきました。

当会が担う「がん検診」の大切さと、その意義を改めて強く認識する機会となりました。



今回のセミナーで学ばせていただいたことを、今後、担当する渉外活動の中で、お客様へお伝えし、お客様と共に、お客様にとって最適な健康管理、健康づくり事業の立案・実践に結び付けていきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

レポート担当 業務部業務一課 課長 高杉 和明